



自動車リサイクル促進センター 東京都発行のソーシャルボンドに投資 ～ 持続可能な社会の実現に貢献 ～

公益財団法人自動車リサイクル促進センター(所在地:東京都港区、代表理事:中村崇)は、本日、東京都が発行するソーシャルボンドに投資を行いました。

本債券は国際資本市場協会(ICMA)が定める「ソーシャルボンド原則 2021年版」及び金融庁が定める「ソーシャルボンドガイドライン 2021年版」に適合した債券として、第三者機関によるセカンドオピニオンを取得しています。本債券で調達された資金は、公共施設・インフラの防災及び老朽化対策(無電柱化の推進、橋梁の長寿命化事業等)、雇用・就業促進施設等の整備、都立学校・特別支援学校の整備、公営住宅建設事業(低額所得者向けの公営住宅等の老朽化に伴う建替え)等に充当されます。調達資金の充当状況については、東京都のウェブサイト上で公開されます。第三者評価機関から、レポートは適切であると評価を受けています。

本財団は、ESG投資を通じて環境問題や社会問題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に向けて、社会的責任を果たしていきます。

<本債券の概要>

債券名	東京都公募公債(東京ソーシャルボンド(5年))第2回
年限	5年
発行日	2022年3月2日
発行総額	300億円
東京都ウェブサイト	https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/

<JARC の ESG 投資>

現在、ESG 投資は、SDGs(持続可能な開発目標)の採択やパリ協定の発効など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていくとした潮流を背景として、国内外で急速に拡大しています。

本財団は、自動車ユーザーからお預かりしたリサイクル料金 9,353 億円(2021 年 3 月末時点)の管理・運用を通じて、持続可能な社会の実現に寄与する ESG 投資*1 *2 を積極的に行っています。

そして、公益法人における ESG 投資のトップランナーとして、更なる ESG 債市場の発展に寄与すべく、発行体とのエンゲージメント(建設的な対話)*3 についても積極的に取り組んでいるところです。

*1 JARC の ESG 投資の方針 <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/esg/>

*2 JARC の ESG 投資 <https://www.jarc.or.jp/news/11765/>

*3 発行体とのエンゲージメント <https://www.jarc.or.jp/automobile/designated-corp/fund/engagement/>

<JARC の概要>

自動車のリサイクルおよび適正処理の促進に関する各種事業を行うことにより、資源の有効な利用の向上および環境の保全に貢献することを目的とする公益法人。

所在地	〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館 11 階
設立	2000 年(平成 12 年)11 月 22 日
理事長	なかむら たかし 中村 崇
自動車リサイクル法 指定法人業務の主務官庁	経済産業省、環境省
JARC ウェブサイト	https://www.jarc.or.jp/

(メディア関係者様のお問い合わせ先)

公益財団法人自動車リサイクル促進センター
広報・理解活動推進部
電話 : 03-5733-7144